

くにたち映画館

春分を過ぎ、いよいよ立夏、そして夏至へと向かう季節となりました。

くにたち映画館の4月から6月のラインナップをご案内いたします！

全国的にミニシアターの閉館が相次ぐ中、

<コミュニティシネマ>として地域に根ざす新たな動きも広がっています。

くにたち映画館もその一つとして、皆さまのおかげでご好評をいただいております。名作を通じて、観て、語り合う——そんな楽しい試みを

これからも続けてまいります。

皆さまのご参加を心からお待ちしております。

共同代表：小川ひろみ・石田ひさや+スタッフ一同



ロスト・キング
500年越しの運命

4月12日(土)
13:30/17:00



Mommy
マミー

母は、
無実だと
思う。

5月24日(土)
13:30/17:00



こころの通訳者たち

6月28日(土)
13:30/17:00



上映会場

KFまちかどホール

(国立市富士見台1丁目7 第一団地1-101) 定員各回 50名

おとな 1,200円 / 学生 1,000円・障害者手帳お持ちの方 800円

【お申し込み・お問い合わせ】

① QRコード(裏面にて、各上映作品紹介欄にございます)

② ✉ kunitachieigakan@gmail.com

③ ☎ 070-8597-1003(ショートメール優先)

<https://eigakan.agreable1993.com/>



4/12
(土)

『ロスト・キング 500年越しの運命』

🕒 13:30 / 17:00

スティーブン・フリアーズ監督 / 2022年 / 108分
イギリス / 配給:カルチュア・パブリッシャーズ

本作は、驚くべき実話であり、主婦が一体どうやって500年以上見つからなかった英国国王の遺骨を発掘するに至ったのかを描く。遺骨を探し当てたのは、自分の勤と信念を買ったフィリッパ・ラングレー。フィリッパを称える本作は、シェイクスピアが描いた悪名高い人物・リチャード三世とはまったく異なる国王の姿と隠された歴史の真実を明らかにしていく。歴史上の人物を推しに据えた“究極の推し活”、“推しの名誉回復”のために奔走しまくるフィリッパの姿は、多くの人々に勇気を与えてくれる。



上映後：みんなでトーク

お申込み

5/24
(土)

『Mommy マミー』

🕒 13:30 / 17:00

二村真弘監督 / 2024年 / 119分 / 日本 / 配給:東映



1998年7月、夏祭りでカレーを食べた67人が食中毒を起こし、うち4人が亡くなった。和歌山毒物カレー事件である。カレーにヒ素が混入したのだった。犯人とされ、2009年に死刑が確定した林真須美は、事件発生から四半世紀を経た今も、獄中から無実を訴えている。真須美の夫、健治の起こした保険金詐欺事件との関わり、犯罪者の息子として生きてきた長男、浩次(仮名)の壮絶な人生、メディアとは。二村監督は、当時の警察、検察、科学者、近隣住民への取材を重ね、この事件の検証を試みる。



上映後ゲストトーク (①15:30~②19:00~)

二村 真弘 監督

お申込み

6/28
(土)

『こころの通訳者たち What a Wonderful World』

🕒 13:30 / 17:00

山田礼於・平塚千穂子監督 / 2021年 / 94分 / 日本 / 配給:Chupki



「聴こえない人に生の演劇の感動を伝えたい」「見えない人にありのままの映像を届けたい」日本唯一のユニバーサルシアターCINEMA Chupki TABATAが初制作したドキュメンタリー映画。耳の聴こえない人に演劇の魅力伝える舞台手話通訳者たちの活動記録に、音声ガイドをつけるという前例のない挑戦を記録した作品。くにたち映画館初のバリアフリー字幕付き、音声ガイドはUDCastに対応しています。上映後はCINEMA Chupki TABATA代表の平塚千穂子さんのトーク(要約筆記付き)をお楽しみください。



上映後ゲストトーク (15:15~16:00)

平塚千穂子さん

(監督・CINEMA Chupki TABATA代表)

お申込み



KFまちかどホール

国立市富士見台1-7 第一団地1-101

京中央線「国立駅」南口より、徒歩(約12分)
 『富士見台第一団地』下車、「あさ27(富士見台名店街)」階段内
 京南武線「谷保駅」北口より徒歩5分

